

令和5年7月－9月期 板柳町景気動向調査

青森県内の景気動向（7月－9月期）

県内の景気は、緩やかに回復している。設備投資は高水準で推移しているが、小規模事業者にとっては投資を踏み切るまでには厳しい経営状態が続いていると言える。

生産は一部に持ち直しの動きがみられるものの、全体としては弱含んでいる現状である。

景況調査アンケート協力事業所

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
調査事業所数	6	9	12	18	45
有効事業所数	4	7	8	15	34

従業員規模	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	0	0	0	1	1
1～4人	3	3	9	13	28
5～10人	1	2	0	2	5
11～20人	1	1	0	0	2

過去3ヵ月（R4年4月～6月）と比較して、どうですか

Q1 売上額について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	2	3	2	3	10
2 横ばい	1	2	5	9	17
3 減少	1	2	1	3	7

Q2 今後3ヵ月の売上単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	2	2
2 横ばい	4	6	3	11	24
3 減少	0	1	2	2	5

価格転嫁により増加傾向にあるが、時期においては横ばいが続く見通しとなっている。

Q3 仕入単価について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	3	5	7	8	23
2 横ばい	1	2	1	6	10
3 減少	0	0	1	0	1

Q4 今後3ヵ月の仕入単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	3	5	8	5	21
2 横ばい	1	2	0	10	13
3 減少	0	0	0	0	0

引き続き増加傾向にあり、値上げに歯止めがかからない状況が続いている。

Q5 採算（収益）について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	1	1	2
2 横ばい	3	6	3	9	21
3 減少	1	1	4	5	11

Q6 今後3ヵ月の採算（収益）の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	2	0	1	1	4
2 横ばい	2	4	2	9	17
3 減少	0	3	5	5	13

原材料高騰により収益圧迫が続いている状況にあり、今後も継続見込みとなっている。

Q7 資金繰りについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	0	1	1	2
2 横ばい	3	6	3	9	21
3 悪化	1	1	4	5	11

Q8 今後3ヵ月の資金繰りの見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	1	0	1	2
2 横ばい	4	6	3	12	25
3 悪化	0	1	4	2	7

50%以上が横ばいとし、今後も同等に推移していくと見通している。

Q9 設備投資について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資した	1	1	0	1	3
2 投資しなかった	3	6	8	14	31

Q10 今後3ヵ月の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資したい	1	3	0	1	5
2 投資しない	3	6	6	14	29

➡ 前回と比較して設備投資した回答が減少したが、投資したいとの回答も引き続き見られた。

Q11 労働力について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	1	1
2 変わらない	4	7	7	14	32
3 減少	0	1	0	0	1

Q12 今後3ヵ月の労働力見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	1	0	1	2
2 横ばい	4	6	7	14	31
3 減少	0	0	1	1	2

➡ 80%以上が変わらないとの回答をしており、横ばいが続く見通している。

Q13 前期と比べた景況の現状判断

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなっている	0	0	1	3	4
2 変わらない	3	5	5	9	22
3 悪くなっている	1	2	2	3	8

Q14 今後の景況の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなる	0	0	1	2	3
2 変わらない	3	5	4	9	21
3 悪くなる	1	2	3	4	10

➡ 「変わらない」との回答が50%以上となり、今後も変わらない見通している。

Q15 最も最優先される経営課題（複数選択可）

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 需要の低迷	2	2	5	0	9
2 販売価格の低下	0	0	1	0	1
3 原材料の高騰	4	6	5	12	27
4 人件費の増加	0	1	0	2	3
5 取引条件の悪化	1	0	1	2	4
6 同業者との競争激化	1	0	2	1	4
7 人材確保難	1	2	0	1	4
8 経営者の高齢化	1	1	1	9	12
9 後継者難	2	0	0	4	6
10 その他	0	0	0	0	0



前期に続き「原材料の高騰」を要因とした、収益圧迫によって、より一層厳しい経営状態が続いている。また、「経営者の高齢化」も通年の課題となっているため、いち早い事業承継に向けた準備が必要となってくる。

板柳町の景気動向（7月－9月期）

引き続き原材料の高騰、需要の低迷、経営者の高齢化等を経営課題としてあげる事業所が全般的に多く、値上げが続く状況が長期化している状況における資金繰り、事業承継への対応が求められる。また、景況については「変わらない」と回答している事業所が未だ多く当町内の小規模事業者にとっては依然として厳しい経営環境が続く見込みである。